

第1回 理事会議事録

1.開催日時及び場所

- (1)日 時 2021年4月18日(日) 午前 10:30 ~ 12:00
(2)場 所 親蔦会クラブ

2.出席者 理事 11名・相談役0名・監事 0名・顧問(校長) 計12名
コロナ禍特例として、会長への委任 4名 合計 16名

3.付議事項

1. 2020年度事業報告及び会計収支(案)に関する件
2. 2020年度会計監査報告
3. 2021年度事業及び予算案に関する件
4. 親蔦会創立90周年記念事業の件
5. 理事会組織変更に関する件
6. 各委員会活動報告に関する件
7. その他

4.議事

議事に先立ち、北川真一郎校長にご挨拶を頂いた。その後、山本会長が議長に就任、議事録署名人に次の2名を指名し、会場に異議を問うたところ、会場から異義なく拍手にて承認された。

白石美弥子、藤原智子

議題

1. 2020年度事業報告及び会計収支(案)に関する件

配布資料に基づき事務局より報告。

蔦55号発行、新型コロナ感染拡大の為、総会は母校→親蔦クラブに変更して実施した。三密防止の為、一般社団法人に変更後は採用していなかった委任状及び議決権の行使を有効とし、運営委員宛に事前に総会資料を送付、参加、委任状参加、議決権行使の何れかを選択してもらう形とした。結果、参加21名(内運営委員19名)、委任状参加30名、議決権行使10名、計61名(内運営委員59名)となった。運営委員総数68名につき、総会成立できた。コロナ禍につきアトラクション及び懇親会は中止とした。理事会等の開催はコロナ禍により、5/5の第一回理事会、企画委員会は中止とした。又2/26予定の第三回理事会を3/7に延期して開催、同日の企画委員会は中止とした。

総務委員会及び広報委員会は適宜開催できたが、他の委員会及び人材バンク意見交換会はコロナによりほぼ中止となった。月1回のオープンデーは7月、8月、10月、11月のみ実施でき、3名の方に講演を頂く事ができた。各委員会活動報告は議題6で報告。各支部活動は新型コロナで計画中止及び親蔦会創立90周年記念祝賀会協賛予定の為当初より実施予定無しで、結果実施ゼロとなった。

昨年4/8の入学式及び今年2/27の卒業式共コロナ禍で来賓無しでの実施となったが、その前日の親蔦会入会祝贈呈式には戸田副会長が参列し、式後、各クラス代表者にお集まり頂き、親蔦会入会歓迎と、会の活動方針や存在意義等を説明した。

会計収支を配布資料に基づき報告。貸借対照表、財産目録、収支予算事業別区分内訳書並びに報告書、財務諸表に対する注記、附属明細書を添付しているので確認頂きたい。この諸表は5年会費は

1 年分にして計算してある為、実質の昨年収支は、「現金及び預金内訳表」に記載の旧一般会計で示し、今年度は 1,158,659 円の現預金の減少となった。現預金減少の理由として、会費納入額の減少とコロナ禍で親蔦クラブの教室利用料の減少、将来を見据えて会員情報管理システムの更新を行う等の大型支出の 3 点を挙げ、説明を行った。毎年実施の会費の納入促進活動は今年度も 2 つの回生で実施したが減少額を補うまでの結果は得られなかった。支出に関して、各種会議や行事の中止・延期に伴い会議費支出は大幅削減(昨年 91 万円→今年 14 万円)となった。

2. 2020 年度会計監査報告

監事欠席の為、事務局より説明、毎年親蔦会監事による監査を行い、その後母校にて校内監事である事務長先生に監査をお願いする手順となるが、今回は理事会の開催が早い為、校内監査が未実施で押印を頂けていない。総会までには実施の上監査報告書を完成させる予定である。

3. 2021 年度事業日程案及び予算案に関する件

配布資料に基づき報告。会報「蔦」56 号の編集作業は無事終了した。総会は今年も親蔦クラブにての開催となる。今回は出席は運営委員のみとし、事前に資料と出欠葉書を運営委員各位の自宅宛て送付する形とする。運営委員以外の参加希望者は事前に運営委員に任命登録の上参加頂く事とする。第一回理事会は 4/18 に実施、当日の企画委員会はコロナで中止とした。その他各種委員会や親蔦クラブ開放日に関しても、今後もコロナの感染状況で中止も検討し、ホームページにその旨掲載するものとする。

親蔦会創立 90 周年の記念式典及び祝賀会は来年 10/10 に再延期となった。

文化祭や研修旅行、各支部活動に関しては、今年度は現状全て予定無し。

予算に関しては、主に昨年実績を元に予算化。90 周年記念式典の再延期で、記念事業関連の予算は昨年そのまま継続し次年度へ持ち越すものとする。

4. 親蔦会創立 90 周年記念事業の件及び親蔦クラブ拡張等に関する件

山本会長より計画の現時点での報告があった。記念式典及び記念祝賀会は来年 10/10 に再延期となった。記念事業の内、母校援助に関しては来年の式典を待たず 6 月の総会に目録贈呈を行う事とし、それまでに学校側に希望をまとめて頂く事とした。親蔦クラブの改装に関しては、壁面やドアのペンキ塗装や什器の新規導入は終了した。今後はレイアウトの確定、旧什器等の廃棄を検討する。

親蔦クラブの隣室 605 号室の持ち主から、売却の打診があった。605 号室は故白井元名誉会長や安岡理事、繁田現相談役等親蔦クラブ開設当時の主メンバーが入手を切望し、何度か打診して都度断られてきた場所である事、今回購入できなければ次は無いと思われる事で、売却価格が妥当であれば購入を検討する事となった。606,607 号室購入時の契約資料等を検討し、交渉を開始する。

5. 理事異動の件

今年度は白石理事、山口理事、向田理事が任期満了となり重任手続きが必要となる。又中島監事が同様に任期満了となるが、辞任を申し出ているので補充が必要となる。

3 理事の重任希望の有無は現在調査中で、総会までには新メンバーを確定する。

6. 各委員会活動報告に関する件

各委員会委員長より活動報告を実施

- ① 総務委員会(向田委員長欠席につき報告割愛)
- ② 年間行事企画委員会(渡辺委員長より報告)
- ③ 会費納入促進委員会(宮原委員長欠席につき報告割愛)

- ④ 広報委員会（大江事務局長が兼任、報告）
- ⑤ ホームページ充実化委員会（堀江委員長欠席につき報告割愛）
- ⑥ 総会活性化委員会（戸田委員長より報告）

7.その他

・夢野台高校教職員異動報告

親鸞会関連では、元校内理事の平家先生が兵庫高校に転任された、又近畿圏会等に出演頂いたコーラス部の元顧問 正門先生が定年退職後非常勤講師として勤務されていたが、鈴蘭台高校の非常勤講師として転任された。

最後に議長は、それ以上の動議の無い事を会場に確認の上、閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は次の通り記名捺印する。

2021年4月26日

議 長 山本 幸男 印

議事録署名人 白石 美弥子 印

議事録署名人 藤原 智子 印